

<第 25 回定期総会 人見会長あいさつ>

日本退職者連合第 25 回定期総会に結集をされました代議員の皆さん、来賓の皆さん、幹事、関係者の皆さん、おはようございます。日本退職者連合を代表してひと言ごあいさつを申し上げます。

この総会には、大変お忙しい中、連合本部より逢見直人会長代行、立憲民主党より枝野幸男代表、国民民主党より玉木雄一郎代表、社会民主党より福島みずほ党首にご臨席をいただいております。ご紹介するとともに、後ほど皆様からご挨拶をいただきます。皆さんで感謝の意を込めまして、御礼の拍手を送りたいと思います。

新型コロナウイルスのパンデミックは現在も猛威を振るっております。東京都には、7月12日より8月12日まで第4次の緊急事態宣言が発出されております。本日の総会も、感染防止の観点から出席代議員の数を絞って開催することといたしました。参加できなかった代議員の皆さん、会員の皆さんには、全国にライブ配信を行って、情勢や取り組むべき課題について情報の共有化をはかっているところです。皆さんのご理解とご協力をお願いしたいと思います。

さて、私は本総会にあたって4点について申し上げ、総会討論の参考にしていただければと考えております。

第一に、新型コロナウイルスについてであります。

日本政府の対応の遅れによりまして、昨日段階で827,858人の感染が発表されております。また、死者についても、14,988人に達しております。この数はアジアでも非常に多い感染者であり、それが今の日本の現状であります。この原因は、政府によるワクチンの確保の遅れ、それに伴う接種の遅れがあげられます。また保健所の統廃合など、公衆衛生体制の弱体化の結果でもあります。ワクチンの接種率は、まだ国民の約3割です。十分な休業補償がない中で、中小企業者や飲食業界は経営危機に陥っています。非正規で働く人たちの生活も大変厳しい状況にあります。これは、菅政権の今の政権運営の失敗によるものだと思っております。菅総理の責任は重大であります。

感染症の専門家からは、第5波の感染拡大が現在指摘されております。このような中、政府等は東京オリンピック、パラリンピックを強行開催しようとしております。東京都に緊急事態宣言が発出されている中、オリンピック開催の意義について、国民に納得のいくような説明がなされているのでしょうか。大変疑問

であります。政府には、国民の命が一番大事だということを肝に銘じて対応していただきたい、そのように考えているところであります。

今後感染拡大を防ぐためには、科学的な根拠に基づき対応を図っていかなくてはなりません。国際協力も必要です。先進国がワクチンを独占するようなことがあってはなりません。今日のグローバル化の中で、グローバルな対処が求められています。一国だけで、この感染を抑え込むことはできません。WHO や COVAX を通して、世界各国が協力することにより、新型コロナの押さえ込みが可能であります。

新たな変異株の発生やあらたなウィルスの発生が危惧される中、国際協力のもと、一日も早い押さえ込みをめざしていくべきだと考えております。

第2には、今後の社会保障をめぐる課題であります。

政府は、今後の社会保障の在り方について、全世代型社会保障検討会議で検討を進めております。6月に出された「骨太方針2021」では、社会保障費の抑制を打ち出しております。年金や医療・介護、子育て等の課題は、日本退職者連合の大きな課題であります。それとともに、これらの課題は全国民の課題でもあります。国民的な議論が必要です。負担と給付をどうするのが問われております。今後高齢者がますます増える中で、高齢者に一方的に負担を押し付けるようなことがあってはなりません。

人々の暮らしに必要なベーシックサービスは、公的な負担で担っていくべきであります。憲法が保障している「健康で文化的な生活」ができるよう取り組んでいくことがもとめられています。日本退職者連合は地域で豊かに安心して暮らせるために、政策制度要求の実現と社会保障制度改革に取り組んでまいります。

第3には、自然災害や地球温暖化に対する取り組みであります。

東日本大震災、福島原発事故から10年が経ちました。7月3日には、熱海市伊豆山における大規模な土石流が発生しました。今も救助活動が続いています。被災された皆様にはお見舞いを申し上げます。また、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

最近、毎年のように発生する自然災害は、地中温暖化の影響が指摘されております。地球温暖化阻止の取り組みは、全世界の課題になっております。脱炭素に向けて、一人一人が積極的に取り組む必要があります。

福島の原発事故の原因は、いまだ解明されていません。原発の解体作業も今後40年以上かかるといわれています。このような中、汚染水の海洋投棄が計画されております。風評被害が予想される中、地元関係者の理解が得られないまま

汚染水を海に放出することは決して許されません。しっかりした合意のもと解決されるよう、求めていきたいと思えます。原発事故や自然災害で避難所暮らしをしている被災者は、数万人に及びます。すべての被災者が以前の日常の暮らしを取り戻すまで、全力で取り組んでまいりましょう。

第4に政治課題について触れたいと思えます。

この秋までに、解散総選挙が予定されております。核兵器禁止条約が今年1月に発行いたしました。唯一の被爆国日本で、政府はこの条約の批准に反対をしております。また沖縄の辺野古新基地建設に反対する沖縄県民の民意を無視し、基地建設にまい進しております。平和と民主主義をないがしろにする菅政権を退陣に追い込む絶好の機会が、間近に迫っております。それが、今度の総選挙であります。

汚職や政治資金規正法違反の罪で、閣僚、政治家が辞任、辞職をしております。安倍政権を継承するといった菅政権は、汚職と疑惑も継承しております。国民の信頼を失った政権です。国民の信を失った政権は、退陣するしかありません。

日本退職者連合は、政策制度要求の実現を目指して、連合が推薦するすべての候補者の必勝をめざしてがんばっていく決意であります。政治の流れを変えましょう。菅政権を退陣に追い込みましょう。政権交代を実現しましょう。

本総会で組織の強化拡大、政策制度要求実現、ジェンダー平等推進等の方針を確認し、日本退職者連合に結集してたたかいを進めることを訴えまして、わたくしのあいさつにさせていただきます。

今日は大変ごくろうさまです。ありがとうございました。